

平成 28 年度 第 1 回銚田市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 28 年 7 月 25 日 (月) 開会 14 時 00 分 閉会 14 時 40 分

2 会場 銚田市旭総合支所 2 階会議室

3 出席者 銚田市長 鬼沢 保平  
銚田市教育委員会 教育長 鬼澤 明  
同 委員(教育長職務代理者) 新館 和子  
同 委員 石山 ちい子  
同 委員 関根 勝美  
同 委員 村田 和寿

【説明員】

教育部長	横田 務
健康福祉部長	勢子 政義
教育部 参事兼指導課長	狩野 秀彦
教育部 教育総務課長	長峯 道男
教育部 生涯学習課長	宮内 一成
教育部 教育総務課 新しい学校づくり推進室長	飯島 洋一
教育部 教育総務課長補佐	宮本 三郎
教育部 生涯学習課 国体推進室室長補佐	関田 潜二
健康福祉部 子ども家庭課長補佐	土子 愛子

【事務局】

総務部長	小野瀬武彦
総務部 総務課長	二重作 勝
総務部 総務課長補佐	新堀 栄寿
総務部 総務課行政係長	飯塚 貴

4 議事の概要

○開 会 (司会：二重作 総務課長)

○鬼沢市長あいさつ

日頃は、市の教育行政に尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、昨今、市民交流館の整備をめぐり、建設の賛否を問う住民投票条例制定の直接請求がありました。

私としては、市民交流館の整備にあたっては、合併協議会での決定、合併前の各町村議会での議決を尊重し、これに基づき、粛々と事業の整備を進めて参りましたし、整備は実

施設設計の段階まで進み、今まさに造成工事に着手しようとしているところで、たくさんの署名が寄せられたということで、私も住民投票条例案を議会に提出させていただきました。

結果、直接請求のあった条例案も私が提出した条例案も否決され、住民投票は行われなくなったため、事業を進めさせていただくところではありますが、再度、住民投票条例制定の直接請求のための署名活動が始まったようです。私としては推移を見守り、議会の判断を尊重したいと考えます。

さて、本日は2つの協議事項をご用意させていただきました。委員の皆様、これらの協議事項につきまして慎重審議をお願いして、私の挨拶とさせていただきます。

○自己紹介（教育委員会、説明員、事務局）

○協議事項（議長：鬼沢市長）

（1）つばさ児童クラブの開設について（子ども家庭課）

- ①放課後児童クラブの設置目的
- ②放課後児童クラブの進捗状況
- ③大洋地区放課後児童クラブの登録状況
- ④開設時間
- ⑤送迎等
- ⑥指導員
- ⑦開設に伴う改修工事

※①から⑦を一括にて説明

【議長：鬼沢市長】 ただいま説明がありましたが、ご意見等あればお願いします。

【石山委員】 つばさ児童クラブも大洋児童クラブも、指導員は3名となっているが、配置の方法は。

【勢子健康福祉部長】 15名の指導員の登録があり、交替制で常時3名の指導員を配置できるようにしている。

【石山委員】 指導員として登録している方はどのような方か。

【勢子健康福祉部長】 児童の健全育成に知識経験を有する方に登録いただいている。ただし、基準の改正により、今後、放課後児童支援員の配置が義務付けられることから、指導員登録者の支援員資格取得を含めて、児童クラブへの支援員の配置を進め

ていきたい。

【村田委員】 送迎等は民間事業者へ委託としているが、誰が、その費用を負担しているのか。

【勢子健康福祉部長】 市が負担している。1日あたり15,000円程度を見込んでおり、今年度は約2,000,000円を予算計上している。

【関根委員】 つばさ児童クラブでは児童の登録が49人となっているが、施設のキャパシティは十分か。

【勢子健康福祉部長】 登録児童全員が悪天候時に利用するとなると、屋外で活動できなくなってしまうので、若干、厳しい面がある。ただし、毎日、登録者全員が利用する訳ではなく、1日あたり平均30名程度の利用となっているので、今の施設で十分と考えている。

【石山委員】 つばさ児童クラブは上島東小学校と白鳥東小学校の児童が利用でき、大洋児童クラブは上島西小学校と白鳥西小学校の児童が利用できるというように利用できる小学校が限定されているが、学校の枠に捉われずに両方の児童クラブを利用することは可能か？

【勢子健康福祉部長】 送迎の予算の制限があるので、それぞれの児童クラブの対象学校の範囲で利用していただきたいと考えている。

【新館委員】 児童クラブの利用にあたり、保護者はどれくらいの負担をしなければならないか。

【勢子健康福祉部長】 学校授業日（夏休み、冬休み、春休みを除いた期間）で1月6,000円を上限に1日あたり400円、学校休業日（夏休み、冬休み、春休みの期間）で1月あたり8,000円を上限に1日あたり500円となっている。

## （2）茨城国体への取り組みについて（生涯学習課）

- ①国及び県のこれまでの経緯
- ②市のこれまでの経緯
- ③県のこれからの取り組み
- ④市のこれからの取り組み
- ⑤市施設整備
- ⑥国体実施に係るスケジュール
- ⑦競技会場の施設利用計画
- ⑧前回大会の様子及び茨城国体開催に係る競技別会場他市町村

※①から⑧を一括にて説明

【関根委員】 市施設整備にあった入口とはどの入口をいうのか。

【宮内生涯学習課長】 銚田総合公園の正門をいう。

【村田委員】 リード競技、ボルダリング競技の施設は常設か仮設か。

【宮内生涯学習課長】 仮設の施設となる。

【石山委員】 体育館内に設置されているボルダリングの施設も撤去するのか。

【宮内生涯学習課長】 今、設置されている施設は残す。

【石山委員】 せっかく国体の会場となるのだから、施設を残して大会後もクライミングと  
いえば「銚田市」と言われるようなPR等はでないのか。

【宮内生涯学習課長】 仮設とはいえ、競技施設はかなり大がかりになってしまい、常設型  
の施設を設置するには専用の建屋が必要となってくる。体育館の利用状況を考慮すると、  
大会終了後は、大会で使用した施設は撤去せざるを得ないと考える。

【村田委員】 ほこまるカップは続けていくのか。

【宮内生涯学習課長】 国体を開催するまでは継続する。

【鬼澤教育長】 ボルダリングの施設の高さはどれくらいなのか。

【宮内生涯学習課長】 現在設置されているものは高さ12m。国体競技に使用するものは15  
mとなる。

【村田委員】 市内では将来有望な選手は育っているのか。

【関田国体推進室長補佐】 強化選手に指定された7人が、国体の予選会を兼ねた大会であ  
るJOCクライミング大会に参加した。結果、旭中学校2年生男子が2位、同1年女子が  
2位、銚田南中1年女子が3位に入賞している。

【議長：鬼沢市長】 その他、協議事項について何かご質問等ありますか。

ご意見も無いようですので、本日本日予定の協議事項は、全て終了となります。

本日は、貴重なご意見等をいただきありがとうございます。

今後も皆様方のご意見等を頂戴し、この会議を進めて参りたいと思いますので、よろしく  
お願いします。

以上で議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

○その他

次回、第2回総合教育会議の予定は、11月の教育委員会開催日とし、予算編成について審議していきたいと考えます。

その他、構成員の皆様から何かご意見やご要望等ございましたらお受けします。

無いようですので、本日の会議を閉じさせていただきます。どうもお疲れ様でした。

5 閉 会